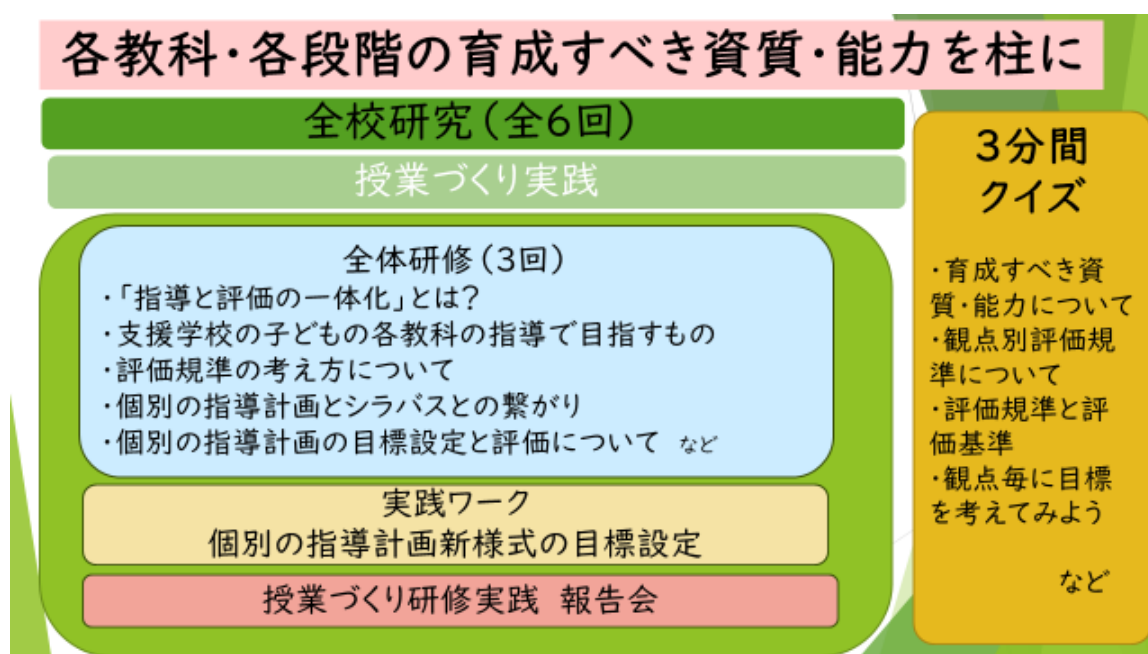


令和5年度の全校研究について

研究部

本校研究部では、教科の視点での授業づくりをテーマとした研修を、令和2年度から実施してきた。今年度は『めざせ!子どもが伸びる!教師も光る!指導と評価~「指導と評価の一体化」ってどういうこと?~』を主題に、全体研修、実践ワーク、授業づくり研修で構成した全校研究を実施した。筑波大学附属桐が丘特別支援学校 石田周子教諭、小山 信博教諭より育成を目指す資質・能力と観点別学習評価の視点から、授業改善について指導助言をいただいた。また、昨年度までの研究内容や各回の研修内容の振り返りの機会として、3分間クイズも昨年度に引き続き実施した。



- 全体研修(講義型研修)

育成をすべき資質・能力と観点別学習評価の意義を中心に「指導と評価の一体化」の理解を深める講義型研修を実施した。また、桐ヶ丘特別支援学校教諭より、障がいの重い子どものための各教科の授業づくりについてご講義いただいた。
- 実践ワーク

本校では、次年度から観点別学習評価に整理した新様式での個別の指導計画が全面実施となる。実践ワークでは、新様式に基づいて観点別の目標設定を行うワークを実施した。
- 授業づくり研修(実践報告)

「指導と評価の一体化」のモデルケースとして、小学部1段階生活科で授業づくり研修を実施した。桐が丘特別支援学校の先生方に生活科の特徴や授業実践の評価・検証において指導助言をいただき、授業改善、教育課程改善の2つのPDCAサイクルの視点から実践報告を行った。